



中・高・大連携をさらに推進し 教育力の向上と強化

金城学院にとって21世紀最初の記念すべき周年を迎えることとなった今年、あらためて建学の精神を見つめ直し、キリスト教主義による全人教育を強化し、推進していきたいと考えております。

具体的にはまず、教育力をさらに向上させることが大切だと考えます。豊かな人間性と教養を兼ね備え、社会で活躍できる女性を育てるにはそれにふさわしい教育を提供できる教職員が必要です。先生方には「東海有数の女性教育機関の教員」という誇りを持って教育に勤んでいただきたいと考えております。さらに学院がこれまで伝統として積み上げてきた女性教育の成果を発展させるとともに、女性の能力や特性を生かせる新たな分野の研究も進め、女性専門教育の開

発と充実に努めていきたいとも考えております。

大学においては、研究を専門とするところだけではなく総合的な教育機関としてさらに発展させてまいります。現在、学内に総合戦略協議会を置き、社会の潜在ニーズや学生たちの夢、将来性などを多角的にとらえ、次世代を見据えた学部・学科の編成などを随時検討しております。さらに「英語教育の金城」の伝統を発展させるべく、英語教育を今まで以上に徹底、高度化します。例えばフライトアテンダントなど、実際にグローバルに活躍中の方をお招きし、実践的な英語を学習。今の時代にあった国際舞台で力を発揮できる女性の育成をめざしてまいります。

それに伴い、海外協定校・提携校と

の一層の関係強化や留学生との交流促進も図ってまいります。本学院は海外留学や留学生の受け入れ、交流においては他においても先駆的な存在であり、かねてから活発に行ってまいりました。今後は留学制度そのものが活かされる環境づくり、学生にとって有意義で現実的、かつ具体的な国際理解の場を増やしていきたいと考えております。

中学・高校においては2003年度より一貫教育へと移行し、さらに高校については大学教員による出前授業、大学模擬授業や高大接続連携授業など高校と大学が共同で行う体験型の授業プログラムの連携を推進しています。高校3年生は将来につながる進路を見極める大切な時期。その中で「あんなすばらしい先生がいるなら、ぜひ金城学院大学へ進みたい」「もっとこの授業を深く学びたい」と思ってもらえるような、魅力あふれる学部・学科づくりを進めてまいります。

教育力を向上し、 幅広い教養と 専門性を兼ね備えた 女性専門教育を推進

学校法人 金城学院

野村 秋博 理事長

施設・設備の充実を図り さらに魅力的な女性教育の場へ

このような幅広い教養と専門性を兼ね備えた人材を育成するために、施設や設備の充実、整備にはますます力を入れていく予定です。大学では「森の中の大学」計画に向けて、教職員と学生による「KSC(金城里山コンサベーション)」を発足。自然との共生

を目的とした里山整備活動をスタートさせています。この大学キャンパス里山化をさらに推進し、環境に配慮した施設や設備を整えるとともに地域の方々も気軽に自然に親しんでもらえるような、地域社会との共生もめざしていきたいと考えております。さらには地球温暖化や生物多様性の消失問題など、学生たちが多くの環境問題に関心を持ち、取り組んでいくきっかけとしていきたいとも考えております。

また120周年にあたり、中学にシンボリックな建物を建設する予定です。具体的には礼拝堂と多目的教室など

の諸施設からなる建物を計画しております。これにより、キリスト教主義に基づくさらなる宗教教育の充実を図っていく予定です。またこの建物には同窓会館の移転も予定しております。学院の歴史とともに卒業生も増え、現在のスペースでは手狭になってきたこと、また卒業生の活動が中学校の教育の場に近いくが互いに有益であることから移転することとなりました。

さらに名古屋・栄の中心に新たに金城学院大学サテライトも開設しました。生涯教育の場として、あるいは8万人を超えるみどり野会会員の情報交換や交流の場として発展させていければと考えております。さらにこのサテライトは、広く開放し、特に高校生の方に気軽に立ち寄りいただき、金城学院大学へ興味を持っていただけるような魅力あふれる空間にしていきたいと構想しております。また、キャリア支援の拠点としても活用できればと考えています。

この恵まれた学院の環境を育んできた歴史に感謝をしつつ、学院全体の組織力の向上をますます図り、卒業生の皆様、地域の皆様とさらに絆を深めながら新しいビジョンに向けて力強く歩んでいきたいと思っております。そして社会で活躍できる女性の教育に全力を注いでまいります。

